

## 東京会場のポスター発表者リスト（太字・下線あり、は口頭発表も）

	氏名 <small>*連名・組織の場合は代表者</small>	ご所属（必須ではない）	ポスター発表タイトル	コア タイム
T01	張 睿帆	名古屋大学大学院人文学研究科考古学研究室	邢州窯三彩と奈良三彩の技術伝承関係	出
T02	安井 恵美子	東京大学人文社会系研究科文化資源学研究専攻修士課程	トイレ研究のここが面白い！ ー植民地朝鮮におけるトイレの研究ー	出
T03	新井 崇之	町田市立博物館	明代後期の景德鎮官窯における不正取締の実態 ー『江西省大志』「陶書」の記録を中心にー	出
T04	殷 慈璟	立教大学	瓔珞から見た陶磁器研究ー明代中後期の資料紹介を中心にー	出
T05	佐藤 文子	愛知県立芸術大学美術学部陶磁専攻	ウズベキスタンのやきものー塩基性植物による灰釉の再現実験研究ー	出
T06	高木 好美	富山市陶芸館	江戸後期における越中在地窯の生産と流通ー流し掛け碗をモデルにー（仮題）	出
T07	堀内 秀樹	東京大学	大名藩邸の発掘調査で出土した陶磁器	不参加
T08	岡地 智子	広島県立美術館	広島県立美術館 所蔵作品紹介 重要文化財《伊万里色絵花卉文輪花鉢》	出
T09	下村 奈穂子	根津美術館	根津美術館（東京・青山） 企画展「茶入と茶碗ー『大正名器鑑』の世界ー」	出
T10	湯沢 丈	東京大学埋蔵文化財調査室	武家屋敷跡出土陶磁器の用途と生産地を探る	出
T11	水本 和美	東京芸術大学	発見する・深める・伝えるー考古学による陶磁器研究の面白さー	出
T12	小川 咲良	神奈川県立歴史博物館	さわって、比べてわかる、陶器器作品調査の楽しみ(仮題)	出
T13	矢島 律子	東洋陶磁学会常任副委員長・鶴見大学	なんでだろう？40年続けてきたのは…	出
T14	横山 梓	東京国立博物館	ニール号沈没150年ーウィーン万博をめぐる日欧の工芸文化交流	出
T15	村上 夏希	昭和女子大学	見えない世界が面白い ー残存脂質分析ー	出
T16	新免 歳靖	東京学芸大学	三楽園焼の分析（仮題）	出
T17	佐藤 一信	愛知県陶磁美術館 館長	初代諏訪蘇山研究が面白い！殖産興業・革新技術・美術工芸	出
T18	立花 昭	岐阜県現代陶芸美術館	さらに知ってほしい、近代陶磁～大会2「明治陶磁研究の現在地」を踏まえて～	出
T19	<b>北野 珠子</b>	東京芸術大学	陶磁器を修復する過程で出会えた陶磁器の面白さ	出
T20	<b>水山 晶陽</b>	藝品館代表・山中商会管理室長	山中商会と陶磁器コレクター	出
T21	<b>秋岡 礼子</b>	特定非営利法人 歴史・環境・まちづくり（NPO法人CUBIS）	私と陶磁器（仮題）	出
T22	<b>森 孝一</b>	公益財団法人 日本陶磁協会 常任委員	私流のやきもの啓蒙活動について	出
T23	山下 峰司	公立陶生病院組合事務局	史料にみる<瀬戸物>という言葉	出
T24	徳留 大輔	出光美術館	海の道のゆくえー山東地域の港湾遺跡と出土陶器	出
T25	森 由美	陶磁研究者・株式会社森企画	やきもの縁むすび	出

こちらのポスターは東京会場【東京大学本郷キャンパス】に掲示します。会場をお間違いないようお願いします。